

## 2 . 個別の動向

### (1) 業況

企業の業況は、改善の動きが広がっている。

#### (分析結果)

製造業では、電子部品が国内外の好調な需要、情報通信機械は輸出が好調、鉄鋼や化学はアジア向け輸出や自動車向けが好調なことにより業況は改善している。一般機械も半導体や自動車関連向けを中心に業況が改善しつつある。一方、窯業・土石はアジア向け輸出が増加しているが、国内需要が低迷し業況に回復がみられない。造船も十分な手持ち工事量を確保しているが、原材料価格の上昇により業況が悪化している。収益面をみると、多くの企業で価格の値下げ要求が続いていることに加え、原材料価格の上昇が収益に影響を及ぼしている。

非製造業では、小売業が、他社との競合や低価格志向、消費税の総額表示の影響などから売上げの回復がみられないが、店舗改装を行った百貨店、消費者ニーズを捉えた一部の小売や情報通信などは好調を維持している。建設業は、公共工事の減少に加え鋼材価格の上昇により厳しい状況にある。

このように、中国地域の業況は、業種間でばらつきがみられるものの、全体としては、鉄鋼や化学、情報通信機械や電子部品などを中心に改善の動きが広がっている。

先行きは、旺盛なアジア需要などの外需に支えられて鉄鋼や化学、電子部品を中心に堅調に推移すると見込まれる一方で、原材料価格や原油価格の上昇が長期化した場合、収益悪化が懸念される。

#### 【加工組立型 7 品目】

半導体：国内は携帯電話や液晶テレビ向け、海外は携帯電話以外でも緩やかに伸長し堅調を維持。

半導体製造装置：国内は半導体メーカーの設備投資の増加、海外は東アジアや北米からの受注が増加し、年内は現状を維持。

携帯電話：国内はカメラ付きの需要一巡と次世代通信への移行で微減、海外は欧州やアジア向けが好調。

パソコン：個人、法人向けともに堅調。

電子部品：国内は携帯電話や液晶テレビ、デジタルカメラ向けが好調。輸出も好調に推移。

自動車及び自動車部品：自動車は欧州向け輸出が好調。自動車部品は新型車や海外向けが堅調。原材料価格は上昇傾向。

産業用工作機械：国内外の自動車関連は好調を維持。今後もアジア向けは好調を維持する見込み。原材料価格は上昇傾向。

#### 【素材型産業 4 品目】

鉄鋼：国内は自動車や造船、工作機械向け、海外はアジア向けが堅調。原材料価格

の上昇を製品価格へ一部転嫁出来ている。

石油化学：国内は自動車向け、海外はアジア向けが好調。販売価格の上昇が原料価格上昇に追いついていない。

紙・パルプ：国内やアジアなどの需要は堅調。原材料価格は上昇している。

窯業・土石（セメント）：海外はアジア向けが増加しているが、国内需要は減少している。原燃料価格の上昇もあり収益は悪化傾向。

## （企業コメント）

### 【電子部品・デバイス製造業】

- ・コスト削減の推進などにより業況は良い。
- ・仕入価格、販売価格は下落傾向であるが、海外の受注が旺盛で販売数量の増加と高付加価値品の比率増加により収益は回復傾向で業況は良い。当面変化はない。
- ・携帯、デジタルカメラ向けが増加しており、業況は良くなった。
- ・国内や北米向けの需要が好調で業況は良い。今後一部材料の仕入価格の上昇により収益は悪化すると思われる。

### 【情報通信機械器具製造業】

- ・国内はカメラ付きの需要の一巡と次世代通信への移行で微減するが、欧州やアジア向けは好調に推移しており収益はほとんど変化はなく業況は良い。今後、単価下落により収益の低下が懸念される。

### 【輸送用機械器具製造業】

- ・仕入価格の上昇や販売価格の低下を販売量でカバーすることで業況に大きな変化はない。今後も次期車種等を確認しており高水準の生産が続く見通し。
- ・仕入価格の高騰で収益は減少しているが、欧州からの新規受注が増加傾向で業況に変化はない。
- ・仕入価格の高騰と円高による受注価格の目減りで収益は悪化。今後の為替動向により更に悪化の懸念もある。

### 【一般機械器具製造業】

- ・国内外の半導体メーカーの設備投資の増加により、受注が増加し業況は良くなった。年内は維持する見込み。
- ・仕入価格が上昇気味であるが、国内は自動車関連、海外はアジアを中心に需要が好調で業況は良い。今後も現状を維持する見込み。

### 【鉄鋼業】

- ・販売価格の改善、設備合理化による稼働率の向上、アジア向け輸出が堅調で収益は上向いており、業況は良い。今後も国内は自動車、造船、工作機械向け、海外はアジア向けに堅調を維持する見込み。

### 【化学工業】

- ・国内外とも需要は好調である。

### 【パルプ・紙・紙加工品製造業】

- ・原材料価格の上昇はあるが、国内、アジアとも需要は順調である。今後も順調に推移すると見込むが、原材料・重油価格の高騰がコストアップ要因となる。

#### 【窯業・土石製品製造業】

・アジア向けが増加傾向であるが、国内需要は減少傾向、原燃料価格の高騰もあって収益は悪化傾向にあり、業況はさほど良くない。

#### 【石油製品・石炭製品製造業】

・原油価格の高騰により仕入価格、販売価格が上昇傾向となっており、収益は悪化し業況は悪い。

#### 【非鉄金属製造業】

・国内は原料価格上昇分の一部を転嫁できたが、輸出分は価格交渉が困難となっており収益は厳しく業況はさほど良くない。

#### 【非製造業】

・改装効果により売上げは増加しており、今後も店舗改装の継続により売上げは増加し収益も増加を見込む。(百貨店)

・販売価格が低下、買上点数も若干減少し業況はさほど良くない。当分の間変化はない。(スーパー)

・新規出店や新商品の提供により売上げが伸びており業況は良い。(100円ショップ)

・新規加入者は微増程度だが収益に変化なく業況は良い。(情報通信)

・鋼材仕入価格の上昇、販売価格の低下、販売量の減少や公共工事減少により収益が減少し業況は悪化している。(総合建設)

・中小企業も受注が増加しており、売上げも増加し改善傾向が見られる。(中小企業金融)

## (2) 生産

生産は、窯業・土石など低調な業種はあるものの、鉄鋼や化学、自動車が強調に推移し、情報通信機械や電子部品も好調で、全体としては高水準で推移している。

### (分析結果)

業種別にみると、鉄鋼は、アジア向け輸出や国内自動車、造船向けが好調で高水準の生産が続いている。一般機械は、半導体や自動車関連向けが好調で生産は上向いている。情報通信機械は携帯電話が、電子部品は、携帯電話やデジタル家電向けが好調で高水準の生産を持続している。自動車は、輸出向けを中心に強調な生産を継続している。船舶は、十分な手持ち工事量を確保して引き続き強調に推移している。化学は、アジア向け輸出や自動車向けを中心にフル生産となっている。紙・パルプは、国内需要が強調で高水準の生産となっている。窯業・土石は、セメントが輸出向けに動きはあるものの、全体的には公共事業の減少など国内需要の低迷により生産は低調である。

このように中国地域の生産は、窯業・土石など低調な業種はあるものの、鉄鋼や化学、自動車が好調な輸出に支えられて強調に推移しているほか、国内外ともに需要が好調な情報通信機械や電子部品が好調で、全体としては高水準で推移している。

先行きは、業種によってばらつきはあるものの、引き続き高水準の生産が見込まれる。

(企業コメント)

【鉄鋼業】

- ・自動車、造船、工作機械向けや中国・東南アジア向けが好調で、ほぼフル生産。当面高水準が続く見込み。

【一般機械器具製造業】

- ・国内の携帯電話関連、車載向け、パソコン向けのデバイスメーカーや北米の半導体メーカーの投資により、ほぼフル生産に近い状況。
- ・アジア、欧州地域の好況や自動車産業の好況持続により、工作機械、素形材はフル生産。

【電子部品・デバイス製造業】

- ・携帯電話、液晶テレビの伸長によりフル生産。
- ・昨年度は生産額が大幅に伸びたが、今年度も同程度の伸びを見込む。

【情報通信機械器具製造業】

- ・輸出は新製品の導入により好調に推移。

【輸送機械器具製造業】

- ・欧州・アジアで新型モデルが好調なことから、生産は増加している。
- ・生産計画の見直しにより、今後減産の予定。
- ・中国経済の活況に伴う海上荷動きの活発化、船舶二重底規制に伴う駆け込み発注もあり、高操業が続いている。

【化学工業】

- ・中国等への輸出、自動車向け樹脂が好調なことから、ほぼフル生産。

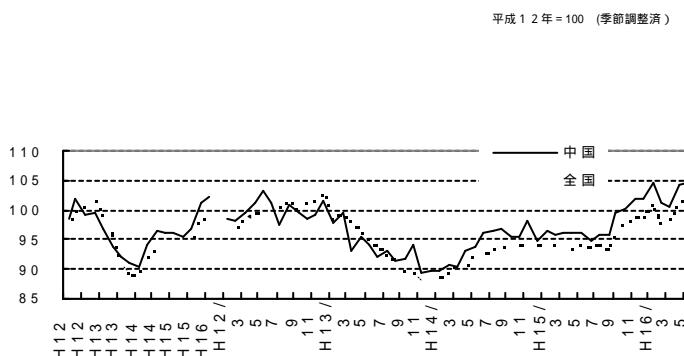
【紙・パルプ・紙加工品製造業】

- ・国内需要が引き続き堅調であり、昨年急増した輸入紙も若干減少していることや、社内での生産体制再構築による生産移管もあり引き続き高水準で推移している。

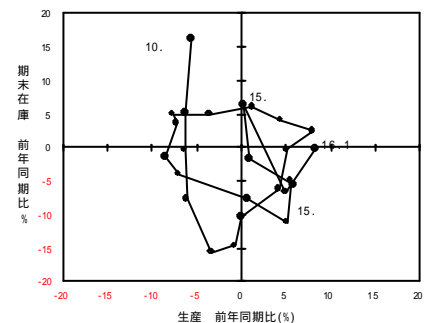
【窯業・土石製品製造業】

- ・稼働率は同水準。国内販売量の減少をカバーし、稼働率を維持するため、アジア地区、特に中国への輸出を増やしている。

平成12年以降の鉱工業生産指数



在庫循環図



(資料出所：経済産業省)

### (3) 設備投資

設備投資は、引き続き増加させる動きがみられる。

#### (分析結果)

製造業では、高炉改修のある鉄鋼や能力増強投資のある電子部品や化学、新型車対応投資のある自動車などで、積極的な投資が行われるほか、その他の業種でも増加させる動きがみられる。一方、非製造業でも、一部の小売業で新規出店や情報通信で事業拡大などにより設備を増加させる動きがみられる。

IT関連投資については、積極的な動きはみられないが、投資を行う際には、各種支援策を活用していくとしている。

#### (企業コメント)

- ・生産能力増強、合理化のため増加。(電子部品・デバイス製造業、情報通信機械器具製造業、一般機械器具製造業、窯業・土石製品製造業、精密機械器具製造業、食料品製造業、情報サービス)
- ・増産・品質向上のため増加。(電子部品・デバイス製造業、化学工業)
- ・新製品への投資のため増加。(輸送用機械器具製造業、総合建設)
- ・設備の新設及び能力増強のため増加(鉄鋼業)
- ・品種拡大のため増加。(鉄鋼業)
- ・店舗改装、設備更新のため増加。(百貨店)
- ・新規出店のため増加。(スーパー、家電量販店、一般貨物)
- ・投資にあたっては、高収益、高性能設備へ絞り込んでいる。(電子部品・デバイス製造業、輸送用機械器具製造業、専門サービス、衣服・その他の繊維製品製造業、精密機械器具製造業、印刷・同関連業、木材・木製品製造業、情報サービス)
- ・必要な投資は随時実施していく。その際に減税策があれば活用する。(木材・木製品製造業)

(前年度比・修正率 %)

		15年度実績見込み		16年度計画
			修正率	
中国	全産業	28.4	4.1	0.1
	製造業	50.8	6.6	1.7
	非製造業	5.8	0.6	2.8
全国	全産業	3.7	0.1	3.1
	製造業	9.1	0.5	4.7
	非製造業	1.7	0.1	6.2

(資料出所：日本銀行広島支店「企業短期経済観測調査結果(平成16年3月)」)

## (4)個人消費

個人消費は、一部では底固さもみられ、概ね横ばいで推移している。

### (分析結果)

小売業などでは、他社との競合による客数の伸び悩みや消費者の低価格志向、価格競争や消費税の総額表示の影響による客単価の低迷などで、売上の回復がみられないものの、店舗の改装や新商品の投入により客数を伸ばしている店舗、消費者ニーズを捉えた企業や高付加価値商品は依然として好調を維持するなど、個人消費は、一部では底固さもみられ、概ね横ばいで推移している。

百貨店は、一部で改装効果などにより売上を回復している店舗もあるが、天候不順の影響から主力の衣料品が不振で、全体としては前年割れが続いている。スーパーは、消費税の総額表示の影響や業態を超えた競合の激化から依然として前年割れが続いている。コンビニエンスストアは、消費者のニーズをとらえた品揃えや新規出店効果により売上を伸ばしている。家電量販店は、デジタル家電や一部の白物家電は好調を維持しているが、主力のパソコンの不振が続いており、伸び悩んでいる。自動車販売は、一部のコンパクトカーや軽乗用車に動きがみられるが、ほぼ横ばいで推移している。飲食店は、競合店との低価格競争や消費税の総額表示の影響などから売上が減少している。情報通信は、携帯電話市場がほぼ飽和状態で、新規契約者数や通信料は伸び悩んでいるが、ファッション性が高い携帯電話や新機種への買い換えは好調である。100円ショップは、消費者を飽きさせない豊富な品揃えや新商品の投入により好調を維持している。

最近の消費行動は、低価格志向が根強い一方、高付加価値商品や高級嗜好品は好調で、依然消費の二極化がみられるほか、キャリア女性や熟年層の消費は堅調である。

先行きは、雇用・所得環境、社会保障制度など社会情勢の先行き不透明感もあり、当面こうした状態が続くと見込まれる。

牛肉輸入禁止や鳥インフルエンザの影響については、一時的に売上が減少したものの回復傾向にある。

### (企業コメント)

#### 【客数、客単価】

- ・店舗の改装効果により、客数は増加している。(百貨店)
- ・競合の激化により、客数は減少している。(スーパー、一般飲食)
- ・消費者の低価格志向と購入商品の変化により客単価が減少している。(百貨店、スーパー)
- ・価格競争により客単価が減少している。(スーパー、自動車販売)
- ・消費税の総額表示の影響により、客単価が減少している。(スーパー、家電量販店)

#### 【消費者動向】

- ・低価格志向だが、物の価値には敏感であり、欲しい物は高額でも購入する消費の二極化は依然として続いている。(百貨店、スーパー、家電量販店、自動車販売、情報通信)
- ・キャリア女性や熟年層に購買意欲がある。(百貨店、スーパー)
- ・新たな客層として熟年層が増加している。(コンビニ、情報通信)

・最近の売れ筋商品

旅行関連商品、美脚パンツ、軽量ウォーキングシューズ（百貨店）

健康志向商品（百貨店、スーパー）

デジタル家電、高性能白物家電（家電量販店）

健康機能茶（カテキン等）、ビール代替商品（コンビニ）

実用的な日用品や収納グッズ。防犯用品。（100円ショップ）

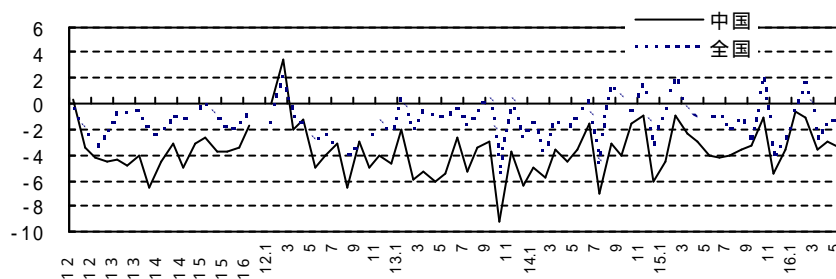
第3世代携帯電話、高性能携帯電話（情報通信）

【今後の見通し】

・所得・雇用環境、社会保障制度の先行きが不透明で改善の見込みがない。（百貨店、スーパー、自動車販売）

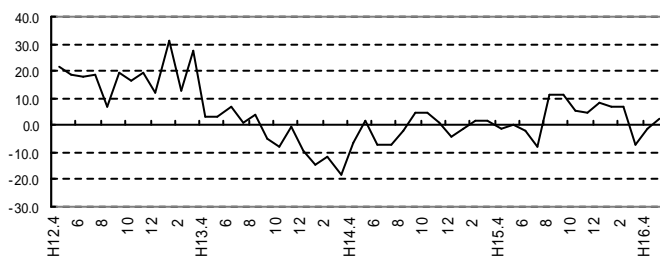
・他社との競争状態は変わらない。（スーパー、一般飲食）

平成12年以降の大型店販売額（前年同期比）



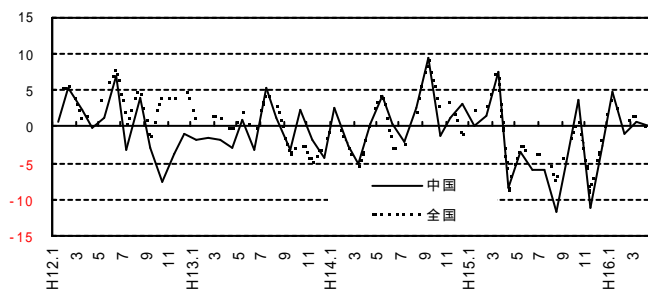
（資料出所：経済産業省）

中国地域家電量販店の販売額  
（前年同期比）



（資料出所：（財）経済産業調査会中国支局）

平成12年以降の乗用車販売台数（前年同月比）



（資料出所：国土交通省中国運輸局）

## (5) 雇用情勢

雇用情勢は、厳しい状況の中、改善しつつある。

### (分析結果)

雇用情勢は、求人者と求職者との業種や雇用形態などのミスマッチが引き続きみられるものの、今年度は製造業を中心にかなりの企業が採用を増加させており、全体としては、厳しい状況の中、改善しつつある。

増加の要因としては、輸送用機械や一般機械などの製造業で生産の増加に対応するため、パートや派遣等を増加させており、小売業でも出店増に対応するために中途採用を増加させている。

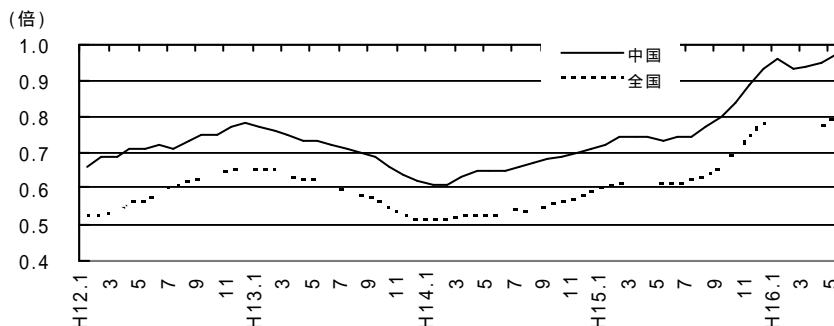
来年度の採用予定についても、製造業を中心に、かなりの企業が引き続き増加させるとしている。

3月の労働者派遣法改正によるアウトソーシングの状況は、多くの企業で特に変化はないとしているものの、一部製造業で派遣導入の検討や請負から派遣へシフトとしている。

### (企業コメント)

- ・生産が増加したためパート等の採用を増加させた。固定社員を増やすのではなく、業務請負や派遣社員を増やした。(一般機械器具製造業)
- ・成長戦略をより確実に推進するため新卒・中途採用を増やす。(輸送用機械器具製造業)
- ・年齢層の歪み、多数の定年退職者に対応するため採用を増加する。(輸送用機械器具製造業)
- ・中途採用が増加したのは、営業力強化のため営業拠点を増加させたため。事務方は派遣で対応は可能だが、営業はそれができないため。(木材・木製品製造業)
- ・出店時期に合わせて採用するため、中途採用が増加。(家電量販店)
- ・断層を作らないため、来年度、新卒採用を予定している。(精密機械器具製造業)
- ・労働者派遣法改正後の状況については、大きな変更はなし。生産関連での派遣導入を検討中。(情報通信機械器具製造業)
- ・請負を派遣にシフトする。(輸送用機械器具製造業)

平成12年以降の中国地域の有効求人倍率の推移



(資料出所：厚生労働省)

## (6) 住宅

住宅は、持ち直しの動きがみられる。

### (分析結果)

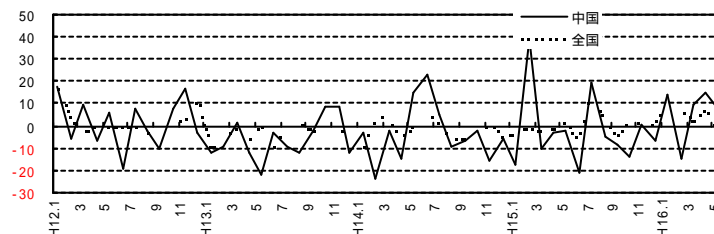
住宅は、景気が上向いてきたことで消費者マインドが上向きつつあり、持ち直しの動きがみられる。住宅ローン減税が延長されていることや消費者マインドが上向いているため、マンションでは割安感のある100㎡マンションを中心に販売が好調で、一戸建ての販売についても増加している。

先行きは、金利の上昇や資材の価格上昇などのマイナス要因が見られるものの、しばらくは横ばいに推移するものとみられる。

### (企業コメント)

- ・過去と比べると良くなっている。要因とすれば、ローン減税の延長や企業業績の回復による所得の増加がある。ただ、金利が上昇局面にあることや資材関係の価格上昇などにより、短期的な伸びになる。(木材・木製品製造業)
- ・住宅着工は、過去と比べると微増しており、水準としては適正レベル。しばらくは横ばいで推移する。(金属製品製造業)

平成12年以降の新設住宅着工戸数  
(前年同月比)



(資料出所：国土交通省)

## (7) 公共事業

公共事業は、公共事業予算削減により引き続き低調に推移している。

### (分析結果)

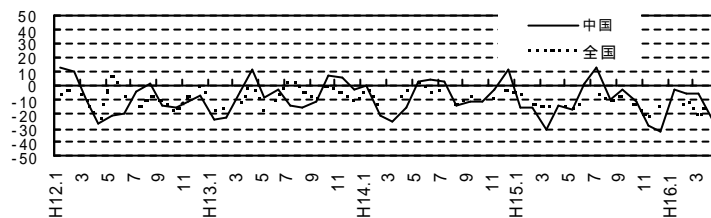
公共事業は、公共事業予算の削減により引き続き低調に推移している。国の公共事業抑制に加え地方公共団体が財政難により補助・単独事業を削減していること、市町村も合併に備えた財政力確保のため公共事業を抑制していることなどが挙げられる。

先行きは、市町村で合併特例債を利用した公共工事が若干見込まれるものの、国や地方公共団体における財政の改善が期待できず、厳しい状況が続くものとみられる。また、PFIについては、普及しつつある。

(企業コメント)

- ・過去10年で最低。バブル期前の水準。ただ、合併特例債を利用した公共工事が若干見込まれるため、量的にはごく僅かながら明るい話もあるものの、全体を押し上げるほどではない。(補助的金融)
- ・国・県等の公共工事の予算削減により低水準。(総合建設)
- ・橋梁・水門等の分野への公共投資は年々減少している。今後も引き続き市場規模は縮小していくと想定される。(輸送用機械器具製造業)
- ・PFIについては、ゴミ焼却施設等でやや動きがある。(専門サービス)
- ・広島県は公共工事にはなるべくPFIを活用するとコメントしている。(補助的金融)
- ・PFIは、今後も増えると思う。(総合建設)

平成12年以降の公共工事請負金額  
(前年同月比)



(資料出所：西日本建設保証(株))

(8)資金調達環境

資金需要は、多くの企業で変化はみられず、資金繰りも特に問題はみられない。

(分析結果)

資金需要は、前年に比べ設備投資が増加するものの、資金需要全体としては多くの企業で変化はみられず、先行きについても、特に変化はないとしている。

資金繰りは、キャッシュフロー内で対応していることや金融機関の貸出態度が良好なことから、多くの企業で特に問題ないとしている。

資金調達先は、多くの企業で変化はないとしているものの、一部では社債発行などによる直接金融のウェイトを増加させる企業もみられる。

(企業コメント)

- ・新型車をはじめとする商品力強化のため資金需要は増加傾向。(輸送用機械器具製造業)
- ・為替差損、個別案件の収益悪化のため資金需要が増加。(輸送用機械器具製造業)
- ・設備投資の減少と利益増加により資金需要は減少。(プラスチック製品製造業)
- ・前年に比べ資金需要に変化はみられない。(電子部品・デバイス製造業、輸送用機械器具製造業、一般機械器具製造業、鉄鋼業、パルプ・紙・紙加工品製造業、窯業・土石製品)

製造業、石油製品・石炭製品製造業、専門サービス)

- ・業績悪化により金利が上昇。(専門サービス、プラスチック製品製造業、衣服・その他の繊維製品製造業、精密機械器具製造業)
- ・資金調達先は一部間接調達から直接調達へシフト。(鉄鋼業)
- ・金融機関の貸出は積極的かつ丁寧。(一般機械器具製造業、プラスチック製品製造業、精密機械器具製造業、コンビニ)
- ・今後の資金需要に変化はない。(電子部品・デバイス製造業、輸送用機械器具製造業、一般機械器具製造業)

## (9) 研究開発

多くの企業が、新製品・新技術の開発、既存製品の高付加価値化などを目的とした研究開発を引き続き実施している。

(分析結果)

多くの企業が、競争力確保のため既存製品の高性能化・高付加価値化、生産技術力の向上や新事業に向けた製品・技術開発などの研究開発を行っている。

研究内容には、過去と比べ大きな変化はみられないが、研究開発の取り組みにおいては、産学連携や他社との共同開発、公的補助の活用といった外部資源を利用する動きもかなりみられる。

先行きについても、多くの企業で更なる競争力強化のために重要と認識しており、研究開発を継続するとしている。

(企業コメント)

- ・事業の競争力維持のため新製品生産設備、新技術の研究開発を行っている。(ゴム製品製造業)
- ・新製品開発及び素材・技術の開発に加え、今後は市場のニーズを製品化することや新たな需要を開拓するための研究も必要。(プラスチック製品製造業)
- ・事業の維持、拡大に不可欠と考えられるため、今後も継続的に研究開発投資を行っていく予定。(輸送用機械器具製造業)
- ・大学と共同でナノテクノロジーの材料加工技術を応用した素材の研究・開発を行っている。(一般機械器具製造業)

## (10) 観光

海外旅行は、順調に回復しているが、その反動により国内旅行は減少。中国地域の主要観光地は、総じて伸び悩んでいる。

### (分析結果)

海外旅行は、順調に回復している。気軽に行ける中国などアジア方面が元に戻りつつあり、海外ドラマの影響で韓国が根強い人気を博している。新たに米子 - 台北間・広島 - 台北間の航空便が就航し、2泊3日の小旅行や台湾経由の商品設定が可能になり、夏休みに向けてキャンペーンを実施するなど旅行関係業者が期待を寄せている。

一方、国内旅行は、海外旅行の回復による反動を受けて減少しているが、底固さがみられる。東京やU S J、由布院や黒川といった九州の温泉が依然として人気が高い。

中国地域への入域観光客の動向をみると、宮島は行政との連携や首都圏への情報発信等の地道な活動によって僅かながら増加傾向にある。下関は海響館やカモンワークなどの観光施設の整備が進み、大河ドラマ「武蔵」に引き続き、「新選組」で幕末・維新を背景とした宣伝効果から観光客の増加が継続している。しかし、その他の主要観光地は目新しい観光素材に乏しく、伸び悩みが続いている。

### (企業コメント)

- ・ 広島 - 台北間の定期便に期待。土・日を組み合わせた2泊3日の旅行や台湾経由の商品が広がる。(旅行代理店)
- ・ 海外旅行は、SARS、イラク関係が沈静化し、ほぼ回復。ハワイ、ミクロネシア、韓国が人気。(旅行代理店)
- ・ (社)広島県観光連盟の大型キャンペーン「ええじゃん広島県」の全国的なプロモーションにより観光客の掘り起こしに期待。(旅行代理店)
- ・ 東南アジアからの観光客は、これまでショッピング、温泉、テーマパークに注目していたが、自然や歴史を見直し始めた。世界遺産登録化の浸透及びPR効果により、宮島の観光地としての認知度が外国人観光客に高くなっている。(観光協会)
- ・ 大河ドラマが観光客に与える影響は大きい。(観光協会)

### 3 . 最近のトピックス

#### ・ 原材料価格・原油価格の動向

原材料価格・原油価格の上昇により、製造コストなどが上昇している。基礎素材型産業では製品への価格転嫁が一部出来ているが、加工組立型産業では価格転嫁が進展していない。

また、一部には原材料の納期遅れがみられ、製造工程に影響が出ている。

#### (分析結果)

原材料価格、原油価格の動向及び調達状況

鉄・銅鉱石などの原料価格の上昇は、一時より落ち着いたものの、鋼材や石油化学原料などの原材料価格の多くは上昇を続けており、製造コストが上昇している。また、造船や一般機械などでは、鋼材などの原材料や部品の入手に遅れが出ており、工程に影響が出ているが、納期にはなんとか間に合わせている。

原油価格の上昇による燃料価格の上昇により、鉄鋼では製造コストの上昇がみられる。

#### (企業コメント)

- ・銅、ニッケル価格は一時より落ち着いたが高水準。(非鉄金属製造業)
- ・ベンゼン価格が高騰している。(化学工業)
- ・スクラップは、2月頃に昨年の3倍くらいまで価格が高騰したが、現在は少し落ち着いて2倍程度になっている。中国産のコークスも昨年の3倍くらいまで上昇し、まだじわじわ上がる気配がある。(鉄鋼業)
- ・部分的に部品の納期が遅れて工程の途中のやりくりが難しくなりロスは出てきているものの、製品の納期の遅れまでは出ていない。(一般機械器具製造業)
- ・鋼材の納期遅れから社内の工程が遅れている。(輸送用機械器具製造業)
- ・鉄筋等の価格が上昇し、納入時期も遅れている。(総合建設)
- ・中国から輸入している金属系材料など(アルミナ、マグネシア、黒鉛、炭化珪素)が上昇している。また、一部材料では若干品不足しているものがあるが、今のところ生産には影響を与えていない。(窯業・土石製品製造業)

#### 価格転嫁、企業収益の影響状況

鉄鋼や石油化学など基礎素材型産業では、一部価格転嫁は出来ているが、加工組立型産業については、現在交渉中も含め価格転嫁が進展しておらず、中小企業の一部でも、価格転嫁が進展していない。

#### (企業コメント)

- ・6月以降販売価格を上げたいと思うが、需要家の反発もあるので、半分程度はコストダウンで対応しようと考えている。(一般機械器具製造業)
- ・原材料価格の上昇分を製品価格に反映すべく、現在ユーザー各社と交渉を実施中。(化学工業)

- ・取引先と現在交渉中で5割程度は転嫁出来そうだが、それだけでは赤字。製造のコストダウンで何とか収支トントンになるよう努力している。(鉄鋼業)
- ・原料ナフサ等の高騰により収益を圧迫するうえに、売値になかなか転嫁出来ない状況。(化学工業)
- ・需要は増えているが、海外品の流入により生産は横ばい、価格も上がらない状況の中で、最近の原材料価格及び原油価格の上昇は、各社の収益に影響を与えているものと思われる。また、製品価格への転嫁については、一部出来ているものもあるが、大半は転嫁までに至っていない。(窯業・土石製品製造業)

#### 今後の見通し

原材料価格・原油価格の上昇が長期化すれば、収益を圧迫するという企業もみられる。

#### (企業コメント)

- ・製品価格への転嫁状況次第では、事業活動そのものが厳しくなる可能性もある。(窯業・土石製品製造業)
- ・グループ内のリネンサプライに燃料価格値上げの要請があった。まだ、受け入れていないが先では受け入れざるを得ず、収益悪化要因。(一般飲食)
- ・原材料価格の高騰は続くと予測され、その場合納期の遅れや収益に影響が出る。(一般機械器具製造業)
- ・製品価格への転嫁が出来ていない中で、今後も原材料、原油価格の高騰が続いた場合、収益に大きな影響が出てくるものと思われる。(窯業・土石製品製造業)